

港区高木学区

震災避難行動マップ

裏面あり

わが家の津波避難先

- -
- 各家庭で津波避難先を書き込みましょう

凡 例

- 指定避難所
- 津波避難ビル
- 地域防災協力事業所
- 広域避難場所
- 一時避難場所
- 地下式給水栓

津波避難ビル(学区内)

施設名称・マンション名	所在地	階層	収容人数
高木小学校(北校舎棟)	高木町3-20	3	631
高木小学校(西校舎棟)	高木町3-20	4	457
惟信高等学校2号館(校舎棟南)	惟信町2-262	4	1,640
ベルメゾン大山	惟信町1-26-1	5	50
シャトーブランエブルー	甚兵衛通1-5-1	4	33
シャトーラメール	惟信町3-25-1	4	27
第一千寿ビル	甚兵衛通1-16-1	6	132
みず貴	善南町8	5	100
ユニブル善南町	善南町47	5	50
サンハイツ麻里	善南町12	4	50
伊藤ハイツ	善南町41	5	120
宝マンション善南公園	善南町33-1	8	450
油屋ハイツ中野Ⅱ	善進本町221-1	5	60
ぜんしん保育園	善進本町191	3	178
ラ・ナシカあらこがわ	高木町4-34-1	4	750



避難生活		指定避難所	
災害が落ち着いた後、自宅が被災して帰宅できない場合、一定期間、避難生活を送るための施設(公立小・中・一部の高校の体育館・コミュニティセンターなど)			
施設名称	所在地	避難場所	収容人数
高木小学校	高木町3-20	体育館、視聴覚室 トワイライトルーム1 トワイライトルーム2	476
惟信高等学校	惟信町2-262	教室 体育館	2,055
高木コミュニティセンター	油屋町2-15	第1会議室 第2会議室	41

地域防災協力事業所	
事業所名	所在地
協力内容	
1 社会福祉法人ゆうゆう会 ぜんしん保育園	善進本町191
敷地・建物一部を一時的な避難場所として提供	
2 いしん保育園	惟信町2-28-1
敷地・建物一部を一時的な避難場所として提供	
3 株スギ薬局 油屋店	油屋町1-22-1
一時的な避難場所、集合場所として屋外駐車場の提供等	
4 細江自動車(株)	高木町3-6
災害時救助用資機材(ジャッキ、フォークリフト、ウィンチ付車両等)の貸出及び操作人員の提供等	

避難情報	警戒レベル	とるべき行動(市からの伝達内容)
災害発生情報	5	命を守る最善の行動をとってください。
避難指示(緊急)	4	緊急に避難を完了してください。 避難場所への避難に限らず、近くの安全な場所や屋内の高いところに避難してください。
避難勧告	4	速やかに全員避難してください。 避難場所への避難が危険な場合は、近くの安全な場所や屋内の高いところに避難してください。
避難準備・高齢者等避難開始	3	お年寄りの方など避難に時間のかかる方は、避難を開始してください。それ以外の方については、気象情報を注視し、避難の準備をしてください。

気象台が発表する早期注意情報が警戒レベル1、注意報が警戒レベル2となります。

南海トラフ巨大地震発生時の対応

港区高木学区 災害時の特性と対策

南海トラフ巨大地震が発生した場合、震度6強の非常に激しい揺れが想定されます。**自分の身を確実に守る**ため、日頃から**家具の転倒防止**などの耐震対策に努めましょう。浸水が2.0mから3.0mに及び箇所もあります。**名古屋港への最短津波(30cm)到達時間は96分**と予測されており、遡上はその後始まります。この時間を最大限に使い津波避難ビルへ避難しましょう。

また、液状化現象も起きる可能性も高い地区です。建物が傾いたり、路上に泥水が溢れ出して通ることができなくなります。これらを踏まえ、適切な避難先と、そこまで安全にたどり着くための経路をあらかじめ考えておきましょう。

- 身の安全を確保する
- 安全に消せる場合は火を消す
- 可能であれば、扉を開けて出口を確保する
- 倒れそうなタンスなどの家具、ガラス戸から離れる
- 机の下に隠れ、机の脚を掴み、低い姿勢で身を守る
- 屋外にいる場合は、建物やブロック塀など、倒壊の危険がある場所からすぐ離れる



提供 効果的な防災訓練と防災啓発提唱会議

避難の際は、近隣で助けを求める方がいないか、大きな声で確認しながら避難しましょう！

- 家族、隣近所への声かけ、安全・安否の確認、情報交換する
- 家屋、近所の被害状況、危険度を確認
- 火元を消す・ブレーカーを落とす
- ガス・水道の元栓を閉める
- 扉を開けて出入口の確保する
- テレビやラジオ等で正しい情報を収集
- 非常持出袋を確認する

地震発生

揺れがおさまった

津波避難ビルを目指して避難開始

津波から安全に避難するための5つのポイント

①揺れがおさまったら、津波避難ビルへ避難！



②隣近所へ声をかけ、原則徒歩で避難！



③高齢者や障がいのある方などの避難支援を！



④引き返さない！安全確認が済むまで避難継続を！



⑤海岸や川沿いには絶対近づかない！



備蓄品・非常持出品の準備

いざという時すぐに持ち出せるよう、非常持出品を準備しておきましょう。

【備蓄品の例】災害に備えて用意しておきたいもの

7日分程度用意しましょう

命をつなぐために用意しておきたいもの

- 保存がきく食品（自分が食べやすいもの）
- 常備薬（持病の薬を含む）
- 飲料水（ペットボトル）
- 1人1日3リットルが目安です。また、水分の多い食品（ゼリーなど）と組み合わせることで量を減らすことができます。

◆防災用品

給水用のポリ容器・バケツ
ロープ
パール
のこぎり・工具など

◆寝具等

毛布
寝袋
キャンプ用テント

◆燃料

カセットコンロ（予備のボンベ含む）
固形燃料

◆便利用品

ドライシャンプー

【非常持出品の例】避難するときに持っていくもの

◆防災用品

携帯ラジオ
ヘルメット・防災ずきん
軍手
マスク

◆貴重品

現金（小銭も必要）
預（貯）金通帳の写し
健康保険証・免許証の写し
カード類
認印・印鑑など

◆衣料品

衣類（着替え）
タオル（大小2種類）

◆照明等

懐中電灯（電池含む）
マッチ・ライター

◆医療用品

三角巾
包帯・ガーゼ
ばんそうこう
消毒薬
ウェットティッシュ（ティッシュ）
お薬手帳

◆食器類

はし・スプーン
紙皿・紙コップ

◆便利用品

筆記用具
新聞紙
携帯用トイレ
ゴミ袋
キッチン用ラップ
使い捨てカイロ
雨具
手動携帯電話充電器

◆その他（個人的に必要なもの）

粉ミルク 生理用品
紙おむつ 予備のメガネ・補聴器など

台風などでの一時的な自主避難による場合には、避難所での生活を目的とした備蓄品の供給は原則としてありません。いざという時にすぐに持ち出せるよう準備しましょう！



津波警報解除
避難勧告解除

災害の危険解消
自宅での滞在が可能か

○ → 在宅避難
✕ → 指定避難所等へ

- 避難に適した靴を履いて外に出る
- 逃げ遅れないように早目に避難を始める
- 隣近所へ大きな声で声をかけながら、あらかじめ決めた津波避難ビルへ向かう
- ラジオ、スマートフォンなどで適宜、情報を確認する
- 持てる量の非常持出袋を持って行く
- 落下物など周囲に気をつける